

船用油圧かじ取機工場試験方法

Shop test method for ships' hydraulic steering gears

1. **適用範囲** この規格は、JIS F 6721 の適用範囲に示すポンプを備える油圧かじ取機の工場試験方法について規定する。

備考 この規格の引用規格を次に示す。

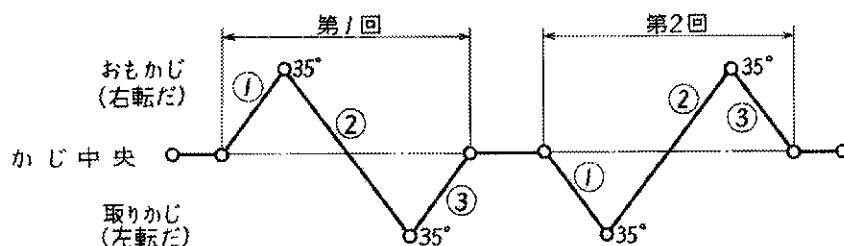
JIS F 6721 船用油圧かじ取機用油圧ポンプ工場試験方法

2. **試験方法及び試験の種類** かじ取試験は、かじ軸には負荷しないで、使用区分⁽¹⁾において図 1 に示すかじ取法で行い、各回とも、その作動状況及び操縦追求装置の適否などを調査する。

なお、適当な方法で、かじ停止角度を確認する。

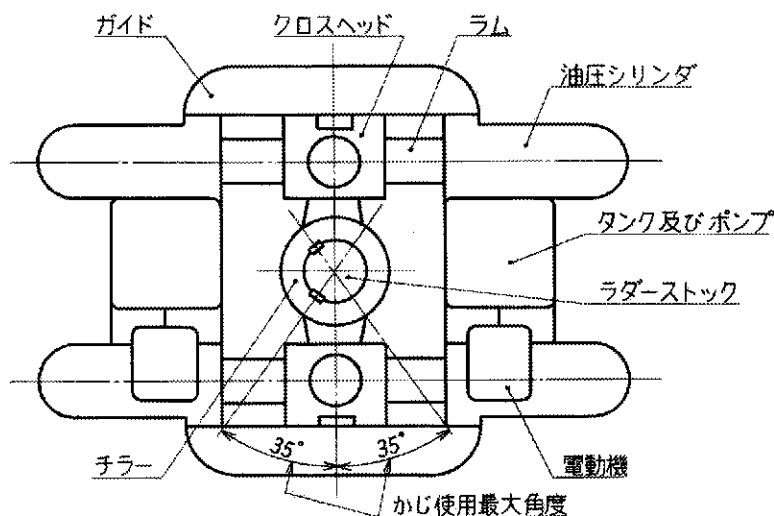
注⁽¹⁾ 使用区分とは、常用の油圧ポンプと油圧シリンダの使用組合せをいう。

図 1 かじ取法



3. **試験装置** 試験装置は、船内装置状態とほぼ等しく装備する (図 2 参照)。

図 2 油圧かじ取機 (4 油圧シリンダ形) (例)



4. 主要要目表及び試験成績表 主要要目表及び試験成績表は、表 1 及び表 2 による。

表 1 油圧かじ取機主要要目表 (例)

かじ取機形式：

要目	単位	要目値
計画トルク	m・kN	
かじ取速度	(^①)	
かじ軸からラム中心まで	mm	
ラム直径	mm	
かじ使用最大角度 (70°) のときの行程	mm	

注(^①) 度/s で表す。

表 2 油圧かじ取機工場試験成績表 (例)

試験 年 月 日	試験の種類			かじ取法	か じ 作 動 時 間	か じ 実 際 角 度	油 圧 シ リ ン ダ 最 高 油 圧 力				電動機（直流・交流の別）								記事	
	使 用 区 分	油 圧 ポ ン プ	油 圧 シ リ ン ダ								回 転 速 度		電 圧		電 流		入 力			
							1	2	3	4	1	2	1	2	1	2	1	2		
							s	度	MPa				min ⁻¹		V		A		kW	

備考1. 原動機が電動機以外のものは、表2に準じて記載する。

2. かじ作動時間は、②だけ 35° から反対玄 35° に転だ中、35° から反対玄 30° までの時間とする。

船舶部会 甲板補機専門委員会 構成表（昭和 54 年 5 月 1 日改正のとき）

	氏名	所属
(委員長)	成 毛 竹 夫	財団法人日本海事協会
	栗 山 勲	運輸省船舶局
	仲井真 弘 多	工業技術院標準部
	草 野 博	財団法人日本船舶標準協会
	柏 木 十三郎	株式会社アジア船舶工業社
	百合草 正 韶	船舶整備公団
	岡 沢 治	川崎重工業株式会社西神戸工場
	福 永 靖 夫	三菱重工業株式会社原動機事業本部
	夫津木 武	辻産業株式会社技術部
	奥 山 孝 志	社団法人日本中型造船工業会
	奥 田 清 人	株式会社福島製作所船用基本設計部
	毛 利 武 弘	大阪商船三井船舶株式会社工務部
	田 中 英 夫	住友重機械工業株式会社船舶本部
	中 西 一 雄	日本鋼管株式会社本社造船基本設計部
	吉 田 真 哉	三井造船株式会社船舶海洋プロジェクト事業本部
	浅 井 孝 雄	日本郵船株式会社工務部
	平 野 泰 直	石川島播磨重工業株式会社船舶事業本部
	森 川 卓	社団法人日本船主協会
	長谷川 和 男	株式会社上野運輸商会
	山 川 信 雄	林兼造船株式会社
(事務局)	石 井 清 次	工業技術院標準部機械規格課
	池 川 澄 夫	工業技術院標準部機械規格課
(事務局)	小 林 秋 穂	工業技術院標準部機械規格課（平成 2 年 7 月 5 日改正のとき）
	山 形 智 幸	工業技術院標準部機械規格課（平成 2 年 7 月 5 日改正のとき）
(事務局)	高 橋 潔	工業技術院標準部機械規格課（平成 7 年 3 月 28 日改正のとき）